

2020年12月度 定例所長会見 所長所感

- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは2点お話しをさせていただきます。

< 1. 安全対策工事の進捗状況について >

- はじめに、7号機の稼働に向けた新規制基準に基づく安全対策工事の進捗状況についてお話しいたします。
- 現在、工事は順調に進捗しており、年内に完了する見通しとなっております。
- 具体的な工事の完了日については、天候等の影響もあり、現時点で明確に申し上げることはできませんが、月末いっぱいまでかかるものと考えております。
- これらの工事については、設備が設計通りになっているかを確認する使用前事業者検査を一つひとつ進め、最終的には国にご確認をいただくこととなります。
- 今後も、検査に伴う作業や工事の片づけの他、さらなる安全性向上のための自主対策工事を継続してまいります。
- また、有事の際にも確実に対応できるよう継続的に訓練を実施するなど、終わることなく安全を追求してまいります。

< 2. 今年1年の振り返り >

- 次に、本日が今年最後の定例会見となります。私が4月に着任してからの所感を述べさせていただきます。
- まずは、作業員の墜落事故やドラム缶搬送における不適切な対応など、地域の皆さまにご心配をおかけする事例があったことにつきまして、改めてお詫び申し上げたいと思います。
- これらは既に対策を講じ、類似事象の未然防止を図っておりますが、「これで良し」とはせず、人手を介さない仕組みの導入など、さらなる改善を進めてまいります。
- さて、この発電所に着任して初めての会見では、安全を大前提として、工事を着実に進めるとともに、「地域と共生する発電所」「地域に信頼される発電所作り」を目指していくことを抱負としてお伝えいたしました。
- 一方で、4月下旬には柏崎において当社社員が新型コロナウイルスに感染いたしました。地域の皆さまをはじめ、医療機関・保健所など関係機関の皆さまに大変なご心配とご負担をお掛けすることとなりました。
- このような状況も踏まえ、感染防止対策を徹底しながら、着実に工事を進めるとともに、所員一人ひとりの緊急時対応能力の向上や、業務品質を高めるための力量向上に努めてまいりました。

- また、地域との共生活動においても、これまで行っていた全戸訪問のような形で広く地域の皆さまのお声を傾聴する活動も難しい状況となりました。
- そのため、ご要望に応じて地域行事に運営スタッフとして参加するなど、地域の皆さまとコミュニケーションを深める活動を通じて、皆さまの多様なお考えを伺っているところです。
- これらの活動は、技術系の所員も含め参加を呼び掛けております。参加後のアンケートでは、「地域の方々と活動することで、地域と共生していることを意識できた」「自分の仕事が地域に与える影響や責任の大きさを再認識できた」というコメントがありました。
- このように所員自らが地域の一員として、自分の業務への意識を高めていってほしいと考えております。
- 来年も、引き続き私が先頭に立って、発電所運営と情報発信に取り組んでいくとともに、コロナ禍を踏まえた「地域と共生する発電所」「地域に信頼される発電所作り」を進めてまいります。
- 本日、私からは以上です。

以 上